

春のまるごと市を行いました



当日の写真



5月26日に晴天に恵まれ、野菜、花、手作り品、リ

サイクル品、炊き込みご飯等々が並びました。多くの方が来られました。野菜生産者の方々やフリーマーケット(館を含め)7店の皆様やお手伝いに来て下さった方には

お世話になりました。野菜を求めて来られた方々には野菜の端境期ということもあり、少し物足りなかったのかもしれませんが、でも、続けていきたいです。初めはまるごと館の用具等のために始めてきましたが、数年後に

は活動用具も揃



八幡まるごと館だより

2024年6月10日/175号
＜発行＞八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

うようになり、日頃の野菜の販売で館の運営もスムーズに行えます。15年経ちましたから。館を続けていくために、沢山の方々のお力をいつも感じています。

原田正純さん著書「水俣病」を読みました。原田さんは熊本大学医学部在学中に水俣病と出会い、それから50年間関わった方です。88年(昭和34年)水俣病の原因はチソンのメチル水銀と解明してまるで決着したかのように思っていました。◆原田さんは昭和36年7月初めて水俣を訪れました。8月水俣病の寝たきりの患者を訪ねた婦人に隣家をみると10歳と4歳の子が二人でいます。『明らかに異常だった。『母ちゃんは』と聞く。と警戒して、長い時間のあと『うみ』と「父ちゃんは何』には長い時間のあと『しん』と。それも聞きとれないほどで言語障害だった。下の子は口をきかず首がふらふらして安定せず(体をくねくね動かして)』(著書本文から) 母親が海から帰ってきて、熊大医師と聞いて話をしてくれました。『兄は水俣病、下は脳性小児麻痺です』と。『弟は魚を食べておらんすたい、生まれつきです』でも、兄弟の症状はよく似ている。しかもこの年に生まれた子どもも弟と同じような子が沢山いると◆いつもは保健所が患者に声をかけて集めてくれたりして、そんなと親は子どもを連れて行った。『仕事が出来ないからいやだった、恥ずかしかった』と後で聞きました。その地域を回るとで周囲からの差別、貧困そのものの中にいる患者の家族の真の姿・声を知ることができた。それまででないことでした◆以来自宅の熊本市から2時間かけて水俣に通います。胎盤汚染物を通さないとは医者の方識だけれど、同じ症状の子どもが近くに沢山いる。『死ねば水俣病かどうかかわかる』とまで言われた家族は、せめて死ぬ前に卵の一つでも食べさせてやりたいかと。そんな気持ちを受けとめようと色々な仮説を立て、ひとつずつ調べました。時間がかかりましたが全員胎盤性水俣病と◆でも、認定されたからと前とは何ら変わらぬ。治るわけでもなく患者家族の医者への厳しい視線を感じていました。次回「原田さんの水俣病の実態解明」を。

水俣病(二)

ありがとうございました

まるごと市を他の方々に知らせていただいたり、衣類の寄付もしていただいています。毎回のことで、販売場所もお借りしています。まるごと市前日には炊き込みご飯の材料刻みありがとうございました。もうどれ

だけお世話になったでしょうか。数えきれないくらいです。当日朝はテントの張り出しから机出し、片付けも同様です。今まで25回も開催できたのは沢山の方々がおられたからです。



前日の準備

絵手紙講習会

＜5月にこんなことをしました＞



8日 まるごと館の生産者の方々が花や野菜、参加者の方からもバラの花等を持って来て下さいました。森本さんや参加者の方々の欠席が続き、やっぱり寂しいものです。寂しいなって話しながら絵を仕上げました。森本さんにお世

話になって10年目に入ります。良くなりましたと聞きましたので嬉しいです。



八幡の歴史



9日 出口修さんは淀川を通る三十石船などの話や外国の要人が乗った船の話をされました。特に上流に進むとき両岸で船が動くように折り重なって引っ張る人たちはかなりの重労働だったと思います。御綱引き神人と言われる方々がおられた。神人は八幡宮から油麴、柴等を売る特権を得ていましたから、船

を引っ張るのはボランティアに近いものだったのではないかと。特に要人が乗った船の時は着物、髪もきちんとし、船から見える家々まで普請したりすることを要求されたそうです。大阪から淀まで行く朝鮮通信使の時もそうだったと言います。(写真は参加者の方が作られた甘夏ピールを全員でいただいているものです。美味しかった。)

理科の実験



17日「調味料で10円玉をピカピカにする」をテーマに木下章司さんは調味料(ケチャップ・塩・酢・ソース・みりん・マヨネ



ーズ・タバスコ・砂糖・醤油・レモン汁)を用意して下さいました。予想では酢やレモンが汚れを一番落とすだろうと

いう意見が多かったですが、実際にやってみるとそれらよりソースやケチャップの方が力を持っていた。10円玉が長い間に酸化して調味料の酸がそれを取り除くそうです。宮地さんもありがとうございました。



オカリナひまわり



20日 コロナ禍がありました。オカリナひまわりは週1回集まって丸9年になりました。この間 20人前後の方々がおられます。練習の間の休憩時にはワイワイと話が弾みます。でも、全員が集まることは中々なく、休まれている方々が良くなられるよ

う皆で願っています。これからは12月と2月のコンサートに向けて新しい曲にも取り組んでいこうと話し合っています。



パソコン教室



20日 毎週月曜日に開催しています。雨が降るとパソコンを持って来られるのがしんどいですが、楽しんで来て下さるのが嬉しいです。折角持っておられるパソコンで活用出来るかと思っておりますので、のぞきにきていただいて、大歓迎です。

パッチワーク



23日 西角千代子さんと前川和子さんに2021年から毎年パッチワークでポシェットを教えていただいていた、4回目になります。全く素人のメンバーで毎回間違いをして、西角さんはあきれておられますが、毎回

粘り強く教えて下さっています。今回は細かい作業が多く今まで一番慎重に取り組んでいます。

八幡まるごと館6月・7月の予定 休み 6月8日(土)、6月13日(木)

<パソコン教室>	
6月3日(月)10時~12時	パソコンを持って来て下さい。費用200円(コーヒーつき)
毎週月曜日 10時~12時です	
<オカリナクラブ ひまわり>	
6月3日(月)13時30分~	楽しめる時に。参加費100円
毎週月曜日、祝日はお休みです	
<映画上映会>「ほい泳げません」	
6月5日(水)13時~	113分 長谷川博己、綾瀬はるか
<パッチワークポシェット 2回目・3回目>	
6月6日(水)6月27日(木)13時~	講師 西角千代子さん、前川和子さん 持ち物 裁縫道具、ハサミ、鉛筆 コーヒー飲まれる方は50円
<絵手紙講習会>	
描く材料があれば持って来て下さい。6月12日(水)午後1時30分~	
<歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N056>	
7月は24日(水)です。	
6月20日(木)13時30分~	講師出口修さん 参加費100円 月1回で
<藍の生葉染め>	
材料代込みで1000円前後です。	
7月19日(金)13時30分~	講師 杉浦絹代さん 持ち物 ゴム手袋、エプロン、汚れてもいい服、タオル、絹の布がある方はお持ちください
<楽しい理科の実験 N056>	
浮沈子と「宝石を作ろう」の材料をお持ち帰り	
7月26日(金)13時30分~	講師 木下章司さん 持ち物 空の丸いペットボトル(炭酸系飲み物)2本 参加費300円(コーヒーつき)

あんなことこんなこと
 * 水俣病は終わってないです。未だに苦しんでいる多くの方々。原田正純さんが歩まれた道をほんの少しかじって私自身にはっぱをかけて、もっと学ぼうと思っています。どうぞお付き合い下さい。よろしくお祈りします。(うえたに じゅんこ)
 * また、まるごと館よりの発行がかなり過ぎてしまいました。175号になりますが、未だにこういうことは向いていないのではと思います。それでも読んで下さる方々がいらっしやうて感謝しています。月に一回のことですのに。